

巻頭言

「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つ」という防衛省・自衛隊に課せられた任務を全うするためには、我々の組織とこれを構成する個々の隊員が、国民から信頼され共感を持たれることが必要不可欠です。このため、隊員一人一人が高いコンプライアンス意識を持つとともに、正しい行いを行うことが重要です。

防衛監察本部は昨年9月で11年を迎えましたが、この間、防衛監察の実施及び各種教育の参考資料として「コンプライアンス・ガイダンス」を発刊するとともに、各地の部隊・機関等でコンプライアンスの講習会を通じて隊員にコンプライアンス意識を定着させるよう務め、国民の信頼と期待に応える防衛省・自衛隊の組織作りや人作りを側面から支援して参りました。

今回、「コンプライアンス・ガイダンス管理者用（第6版）」を発刊するに当たっては、第5版の内容を基礎としつつ、多くの部隊・機関からいただいた事例等を新たに反映させることとし、いわゆる日報問題に端を発して防衛省・自衛隊を大きく揺るがす事態にまで発展した行政文書管理及び情報公開に関しては、政府の新たな取組を含めた内容を追記し、また、防衛省・自衛隊に対する信頼性を大きく損なうおそれのある、装備品等の管理、セクハラ、飲酒関連及びわいせつ事案等に関しても、可能な限り多くの事例・教訓を具体的に提示して、各部隊・機関の管理者の皆様がコンプライアンスへの自学研さん及び部下・後輩への指導の際の参考資料等としてより利用していただけるような内容になるよう心がけました。

防衛省・自衛隊全体へのコンプライアンスに係る意識の徹底及び知識の習得を図るため、本書をぜひ活用していただきたいと思っております。

防衛監察本部が「畏敬されながらも身近で頼りがいのある存在」となり、防衛省・自衛隊に対する国民からの信頼と支持が揺るぎないものとなるよう、防衛監察本部として、今後も努力していきたいと思っておりますのでご協力のほど、お願い申し上げます。



防衛監察監
野々上 尚

令和元年7月